

活動名称 (40字以内)	加賀温泉郷まるごとキャンパス体験		
団体名等	石川県加賀市		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		2 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/5(月) ~ 8/8(木)	主な活動場所	石川県加賀市内
	4 日間		
目的	<p>加賀温泉郷の加賀市内の三温泉地(山代、山中、片山津温泉)の入込客数は旅行形態の変化等により、最盛期の400万人から170万人にまで一時は落ち込んだ。平成27年3月の北陸新幹線が金沢開業にあわせ、主に首都圏でのプロモーション活動を強化してきたことで、知名度も徐々に向上し加賀温泉郷の入込客数は約200万人まで回復してきている。しかし、まだまだ十分とは言えず「第2次加賀市観光戦略プラン」のもと首都圏へのプロモーションの他、インバウンド対応の推進や体験観光商品の開発を行っているところである。</p> <p>このような状況で東京大学の学生に、地方観光地における現状や行政の具体的な取り組みを見聞してもらい、若者や都市部の学生の視点での意見をもらいたい。また、参加学生の実践的学習にも寄与すると考える。</p>		
具体的な内容 (800字程度)	<p>加賀温泉郷が有する、温泉、歴史、文化、自然、風景、食など豊かな資源を活用し、市域全体をフィールドとして様々な体験や現地学習をしてもらいます。それぞれは短い期間ではあるものの、体験活動を通して見聞したことを基に、少子高齢化に起因する、人口減少や、生産人口の減少という大きな課題を抱える地方観光地である加賀温泉郷に対し、再生の糸口となるような意見や提案を示していただきます。</p> <p>1. 温泉地の現状分析と魅力創出 山中温泉の温泉街「ゆげ街道」、山代温泉の「湯の曲輪」、片山津温泉の「総湯(共同浴場)」など、近年整備された温泉地の魅力創出について検討する。温泉街整備について現地を見ながら学ぶとともに、入浴体験を含めた町歩きを行い、個性ある温泉地づくりについても検証する。</p> <p>2. 伝統工芸に焦点を当てたブランド強化 国指定の伝統工芸品である九谷焼や山中漆器に代表される伝統工芸が加賀市では息づいている。これらを魅力的に伝えるための戦略について検討する。九谷焼については史跡を訪ね、その歴史を学ぶとともに、実際に作陶体験を通して、その魅力を体感する。</p> <p>3. 観光プロモーション(情報発信)について 加賀温泉郷では、国内外に向けて情報発信を数々行っているが、若者世代にターゲットにする情報発信が弱い。様々なコンテンツに対して効果的な情報発信について検討する。また、実際に加賀温泉郷の観光に対する情報発信を行い、効果を検証する。</p> <p>4. 観光消費額増加の提案 観光消費額を増加させるためには加賀温泉郷の滞在型観光(連泊)、三温泉地の周遊観光、宿泊以外の現地での食事や買い物による消費がかかせない。二次交通対策として導入された電動アシスト自転車、超小型電気自動車「温モビ(ぬくもび)」や電気自動車のレンタルや、ご当地グルメとして開発された「加賀力ニゴはん」「加賀パフェ」などの取り組みについて学び、観光消費額増加の手法について検討する。</p> <p>5. 観光客増大プラン等の策定 上記の体験等を通し、誘客に有効な方策についての検討を行い、加賀市に対して今後の観光施策について提案する。</p>		
備考	<p>・今年度の市予算(学生等交流事業費)から、予算措置済</p> <p>① 宿泊費に対して、1人1泊あたり2,000円を助成</p> <p>② 加賀市内での交通、公共施設利用に係る経費は、加賀市が負担</p> <p>・東京での情報発信について、学生からの意見を聞く</p> <p>・そば打ち体験を予定。そばアレルギーがある場合は備考欄に記入すること。</p>		
参加するための費用(およそ)※	内 訳(1名当たり)		その他※特記事項は以下に記載 ※ 交通費は東京駅～加賀温泉駅間往復のJRの学割料金。 ※ 宿泊費は、加賀市からの宿泊費助成を差引いた金額。宿泊先は旅館・民宿を予定していますが、宿によって金額は前後します。 ※ 野外を歩く機会が多いので、虫除けスプレーを持参し、歩きやすい格好や歩き慣れた靴で参加すること。(サンダル、ヒール、短パン不可) ※ 下記ウェブサイト等や事前送付する「加賀市観光戦略プラン」をもとに上記具体的な内容の1～4について事前検討を行うこと。
	交通費 (電車の場合)	29,000 円	
	宿泊費	24,000 円	
	(食費)	実費 円	
	()	円	
	計()	53,000 円	奨励金額 宿泊先の決定後に算出 円
ウェブサイト等	加賀市ホームページ: http://www.city.kaga.ishikawa.jp/ 加賀温泉郷観光情報サイト KAGA旅・まちネット: http://www.tabimati.net/ 観光パンフレットダウンロード先: http://www.tabimati.net/pamph/ 加賀四湯博サイト: http://omotenashi.ladykaga.me/		